

2023年5月29日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が一段と回復し、消費関連が回復している。一方、投資関連、雇用情勢は横ばい、畜産関連が低迷している。足元では、物価上昇が続いているものの、コロナ禍からの社会経済活動再開の動きが続き、全体として回復傾向が強まっている。

生産活動は、2月の鉱工業生産指数が8か月連続で前年を下回った。食料品は前年を上回ったものの、窯業・土石製品、電子部品・デバイスが前年を下回った。

畜産関連では、4月の肉用牛(和牛)枝肉価格は、去勢A4、去勢A3ともに前年を下回った。一方、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場のいずれも前年を上回った。

個人消費関連は、3月の家電大型専門店が前年を下回ったものの、3月の百貨店・スーパー販売額、ドラッグストア、コンビニエンスストア販売額、4月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、4月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、4か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額は前年を上回ったものの、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、3月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント下回る1.26倍となった。

【生産活動】… 弱含み

電子部品関連は、5G関連は堅調だが、スマホ向けなど一部で在庫調整の動きが続いている。また、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

3月の焼酎生産は、4か月連続で前年を上回り、出荷量は2か月連続で前年を上回った。

2月のかつお節生産は、5か月連続で前年を上回った。

4月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが2か月連続で前年を上回ったものの、民間工事向けは8か月連続で前年を下回り、全体では3.7%減と8か月連続で前年を下回った。

4月の紙パルプ生産は、2か月ぶりに前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】… 低迷

4月の子牛の出荷頭数はほぼ前年並みで、価格は前年を下回った。4月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4は5.5%減と6か月連続で前年を下回り、去勢A3は6.0%減と8か月連続で前年を下回った。3月の枝肉生産量は前年を上回った。

4月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は14.5%増と4か月連続で前年を上回った。3月の枝肉生産量は前年を下回った。

4月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は27.6%増と10か月連続で前年を上回り、むね肉は30.9%増と39か月連続で前年を上回った。4月の処理羽数はほぼ前年並みとなった。

4月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は65.9%増と8か月連続で前年を上回った。3月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】… 回復

3月の百貨店・スーパー販売は、衣料品、飲食料品が前年を上回り、全体では18か月連続で前年を上回った。

3月の専門量販店販売額は、家電大型専門店が前年を下回ったものの、ドラッグストア、コンビニエンスストアは前年を上回った。

4月の乗用車新車登録台数は、4か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は55.3%増、小型車が9.6%増となった。

4月の軽自動車届出台数は8か月連続で前年を上回った。

【観光関連】… 一段と回復

4月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、全国旅行支援効果や、コロナ関連の規制・ルールが見直された影響から、4か月連続で前年を上回った。関東、中部、韓国、台湾などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加した。

鹿児島地区は、関東、韓国、台湾などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、9か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、4か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、関東、韓国などからの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、4か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区、奄美地区ともに4か月連続で前年を上回った。

4月の主要観光施設入場者数は、全ての調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】… 横ばい

4月の公共工事は、件数は前年を下回ったが、請負金額は前年を上回った。

3月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額ともに前年を下回った。

3月の新設住宅着工戸数は、分譲は前年を上回ったものの、持家、貸家が前年を下回り、全体では2か月ぶりに前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年をやや下回り、0.7%減となった。

3月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、3か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】… 輸出額は前年を下回った一方、輸入額は前年を上回った

3月の輸出額は、ゴムタイヤおよびチューブが前年を上回ったものの、再輸出品、パルプおよび古紙、食料品および動物、木材が前年を下回り、全体では69.1%減と2か月ぶりに前年を下回った。輸入額は、原油および粗油、穀物および同調製品が前年を上回り、全体で24.5%増と24か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】… 横ばい

3月の有効求人倍率は前月を0.04ポイント下回る1.26倍となった。県内求人数を業種別にみると、卸小売は前年を上回り、製造業、建設業、医療・福祉は前年を下回った。

【金融情勢】… 貸出金残高は前年を上回った

2月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.9%上回った。

【企業倒産】… 倒産件数は前年と同数

4月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（6件）と同数だった。また負債総額は4億75百万円で前年同月（4億96百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 ㈱九州経済研究所（TEL 099-225-7491）